

安 全 情 報

No 3 / 2016

リベルタドール市内において邦人旅行者に対する強盗事件が発生

1月27日(水)午後9時頃、リベルタドール市プラザ・ベネズエラにおいて、旅行者1名が徒歩で通行中、けん銃を所持していたと思われる男から脅され、現金等を奪われました。幸い被害者に怪我等はありませんでしたが、リベルタドール市は、市内全域において、殺人、強盗、窃盗、誘拐等が多発しており、下記情報をご参照頂き、十分注意をお願いします。

記

1 概要

(1) 発生日時

平成28年1月27日(水)午後9時頃

(2) 発生場所

カラカス首都区リベルタドール市プラザ・ベネズエラ歩道上

(3) 被害者等

ア 邦人旅行者 1名(男性)

イ 被害品: 財布, 携帯電話等

(4) 状況

被害者は、人通りが多い中、一人で公園内を歩いていたところ、ベネズエラ人と思われる男に前を立ちふさがれ、金品を出すよう脅されました。男は、上衣に手を入れけん銃を持っているような素振りを見せたことから、被害者は抵抗することなく、所持品を差し出しました。幸い、犯人はそれ以上要求することなく立ち去ったため、被害者に怪我等はありませんでした。

2 注意事項

リベルタドール市は、その全域において、殺人、強盗、誘拐、窃盗等が多発しており、カラカス首都圏でも最も危険な場所となっています。最近は、特に、時間帯に関係なく、また人通りが多い中でも凶悪犯罪が発生しており、注意が必要です。

強盗の被害は、銀行から出てきた際や、お金持ちに見える者(外国人やドル現金を所持しているように見える者)が、特に狙われています。また、被害者のほとんどが、単独で行動している時ですので、昼間帯であっても単独での行動は控えて下さい。